

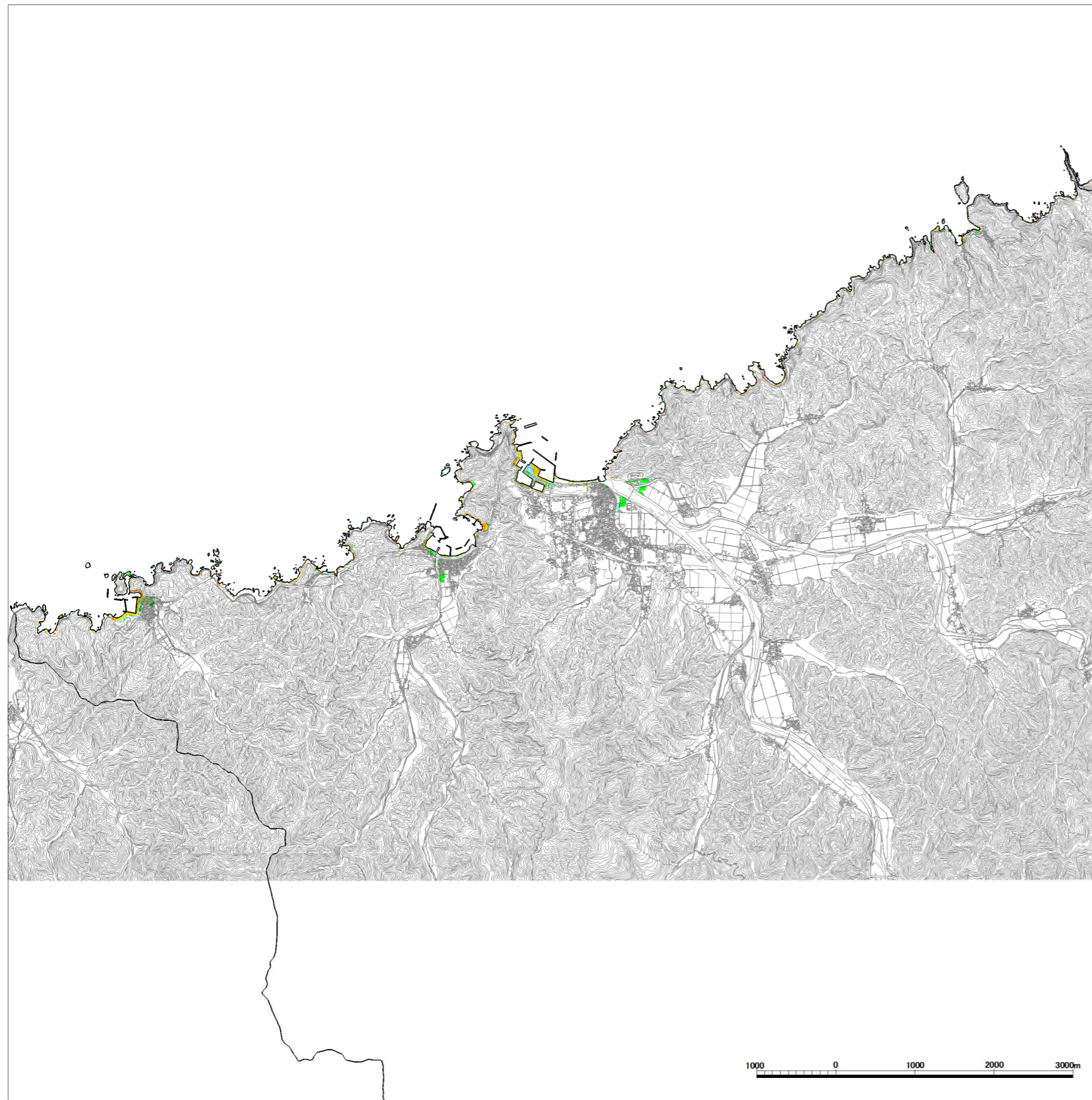
第2回総合部会資料。
この資料はH30公表の最終版とは異なります。

資料1-3

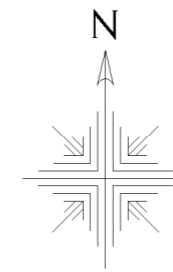
この資料は公表時のイメージです。精査中のものであり、最終公表版とは異なる場合があります

津波浸水想定図

【兵庫県 津波浸水想定図:新温泉町】



この資料は公表時のイメージです。精査中のものであり、最終公表版とは異なる場合があります



凡例 [浸水深]

5.0m以上	～
4.0m以上	～ 5.0m未満
3.0m以上	～ 4.0m未満
2.0m以上	～ 3.0m未満
1.0m以上	～ 2.0m未満
0.3m以上	～ 1.0m未満
	～ 0.3m未満

【構造物条件】

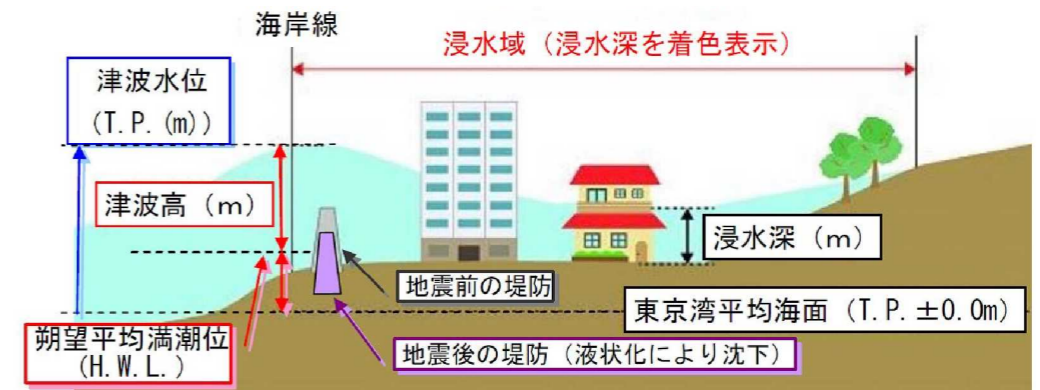
条件: 施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

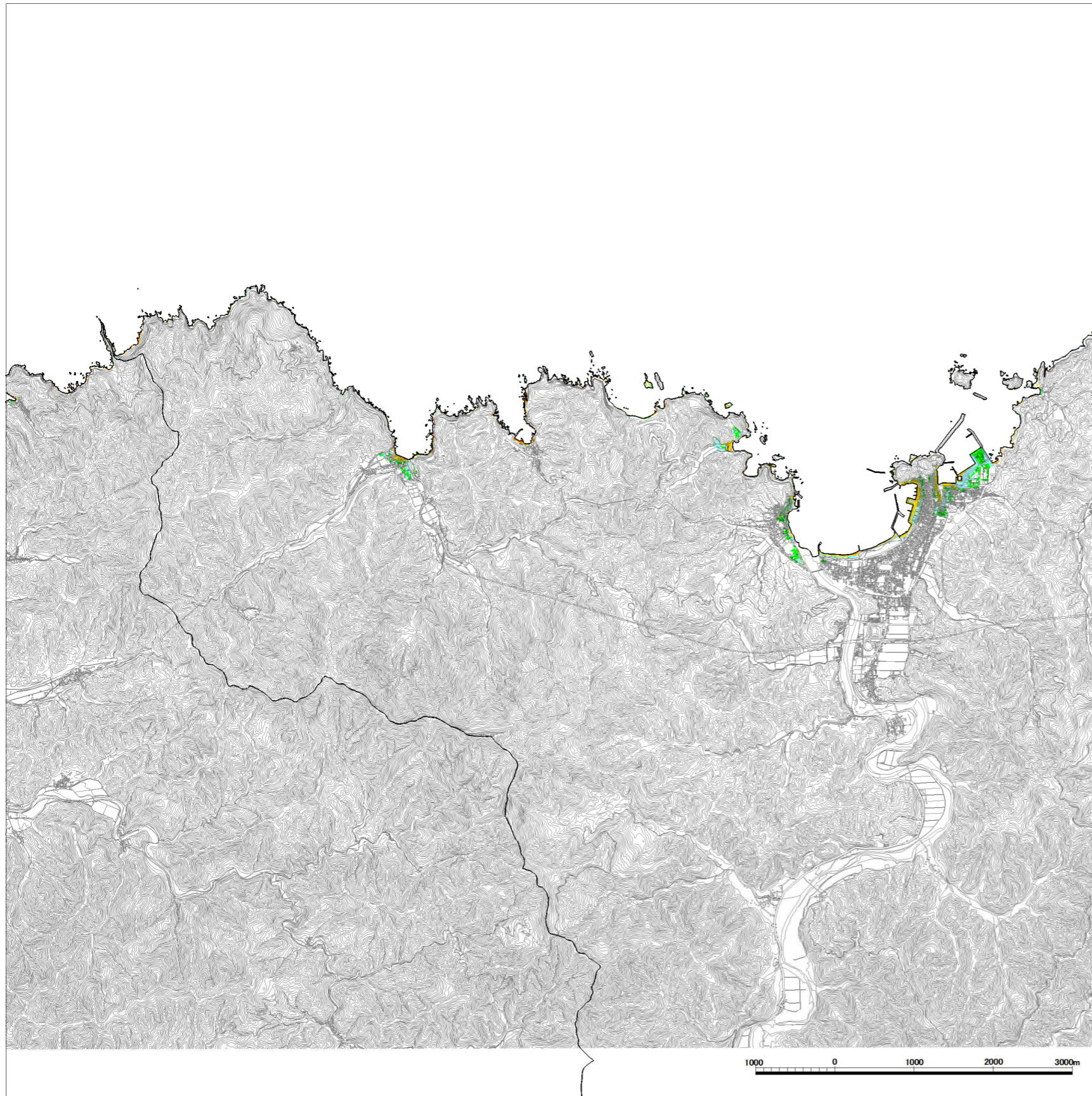
海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

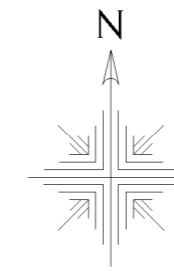
- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水深)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。



【兵庫県 津波浸水想定図：香美町 1】



この資料は公表時のイメージです。精査中のものであり、最終公表版とは異なる場合があります



凡例 [浸水深]

5.0m以上	～
4.0m以上	～ 5.0m未満
3.0m以上	～ 4.0m未満
2.0m以上	～ 3.0m未満
1.0m以上	～ 2.0m未満
0.3m以上	～ 1.0m未満
	～ 0.3m未満

【構造物条件】

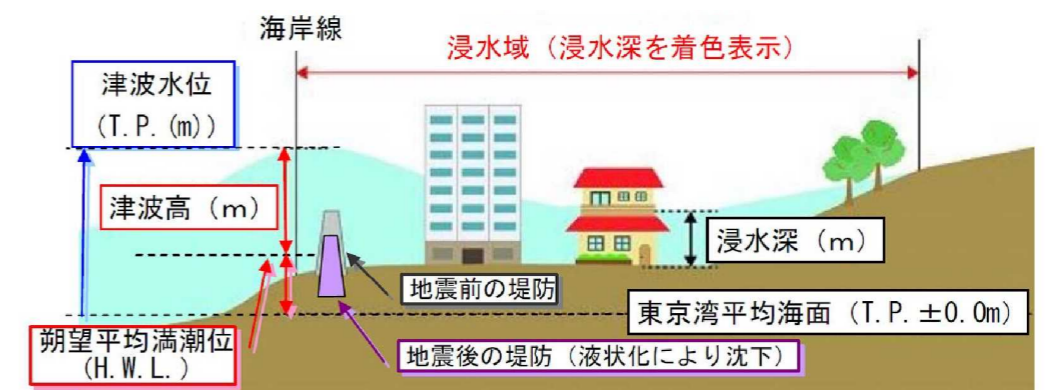
条件：施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

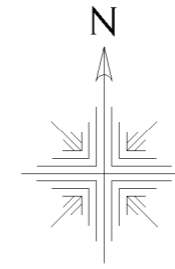
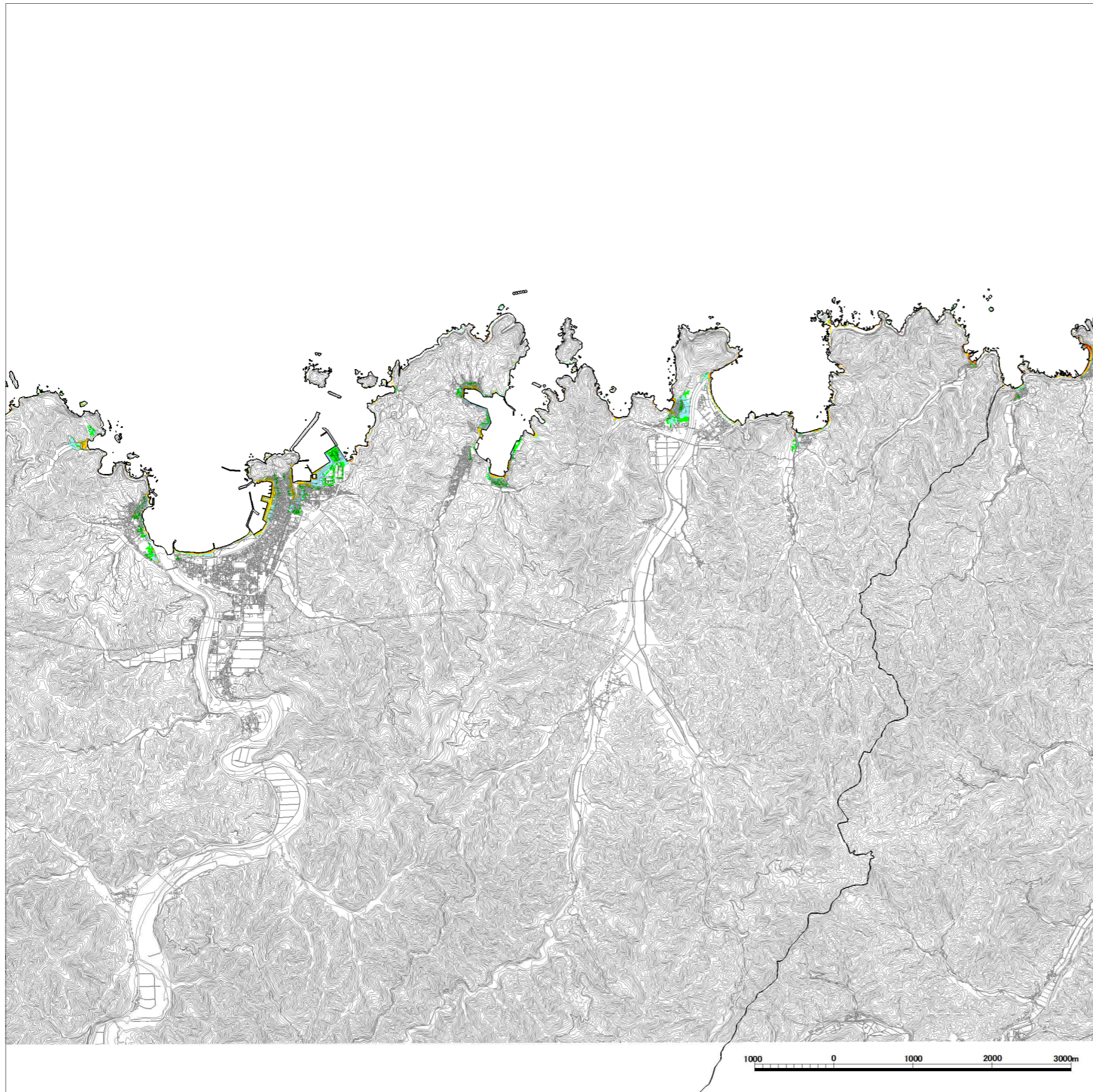
【留意事項】

- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水深)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。



【兵庫県 津波浸水想定図：香美町 2】

この資料は公表時のイメージです。精査中のものであり、最終公表版とは異なる場合があります



凡例 [浸水深]

- 5.0m以上 ~
- 4.0m以上 ~ 5.0m未満
- 3.0m以上 ~ 4.0m未満
- 2.0m以上 ~ 3.0m未満
- 1.0m以上 ~ 2.0m未満
- 0.3m以上 ~ 1.0m未満
- ~ 0.3m未満

【構造物条件】

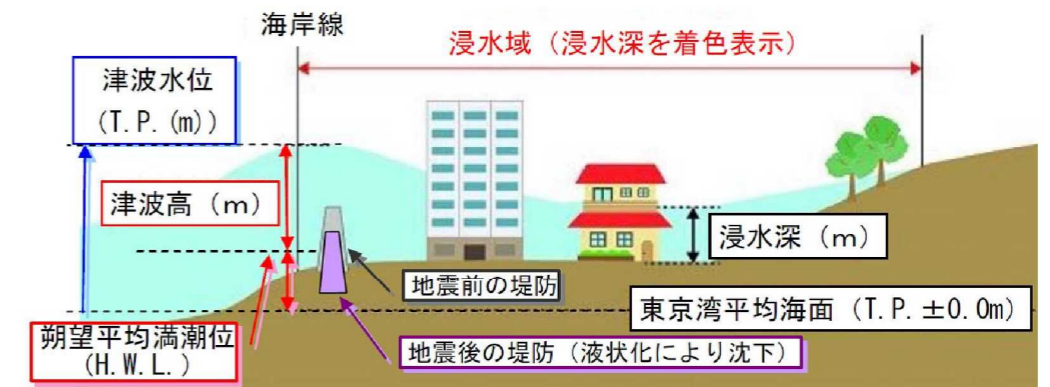
条件：施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

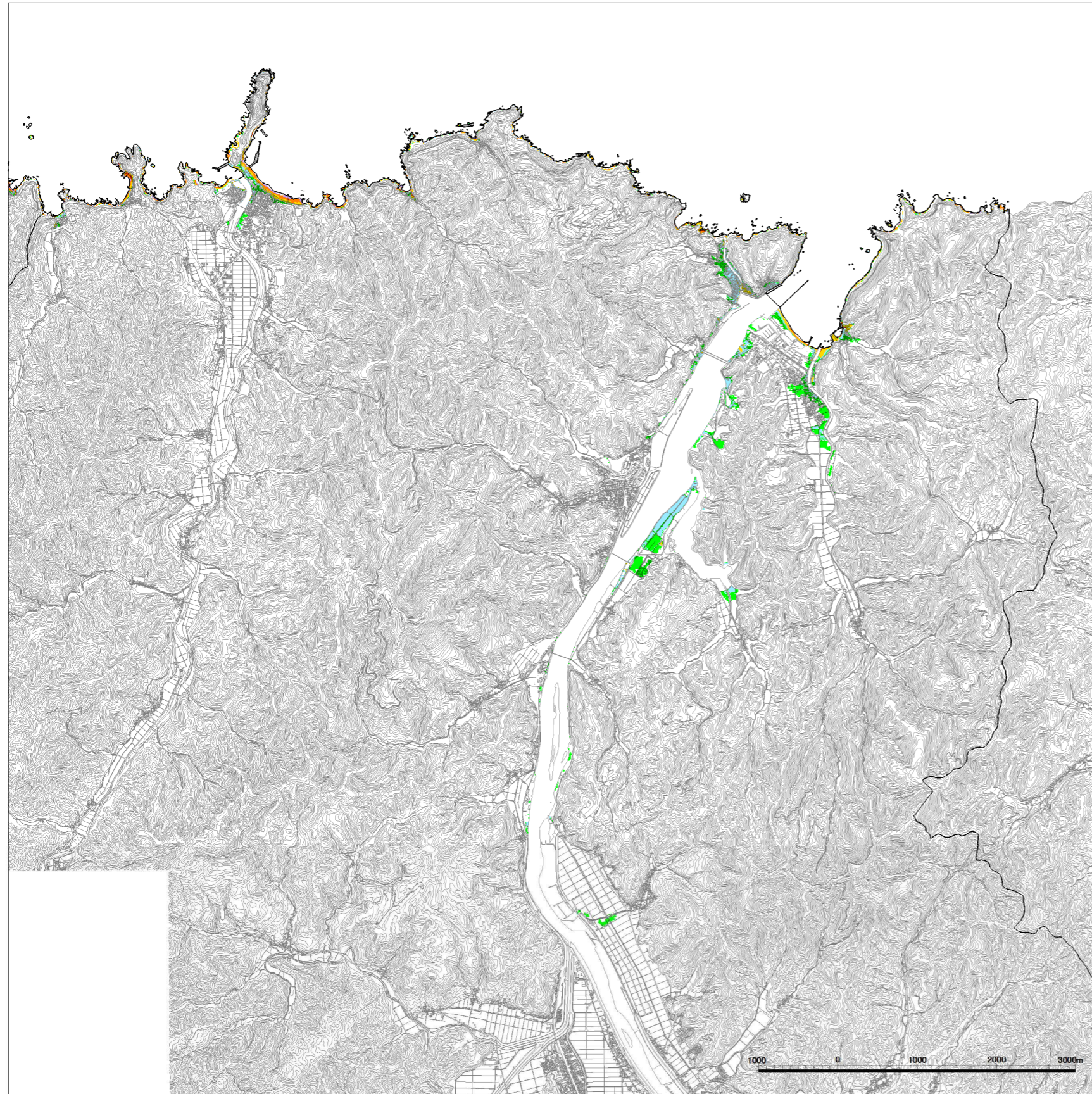
海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水深)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。



【兵庫県 津波浸水想定図:豊岡市】



この資料は公表時のイメージです。精査中のものであり、最終公表版とは異なる場合があります

凡例 [浸水深]

5.0m以上	～	5.0m未満
4.0m以上	～	4.0m未満
3.0m以上	～	3.0m未満
2.0m以上	～	2.0m未満
1.0m以上	～	1.0m未満
0.3m以上	～	0.3m未満

【構造物条件】

条件: 施設あり、地殻変動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強振動による液状化に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤する
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う 沈下	液状化による 沈下	津波が施設天端を 越流した場合
あり	考慮	考慮	破堤

【留意事項】

- 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水深)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予測される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 実際の被害では、局地的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる影響が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。

